

本品の 30 分間の溶出率が 80 % 以上のときは適合とする。

プロピルチオウラシル($C_7H_{10}N_2OS$)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_s \times \frac{A_r}{A_s} \times \frac{1}{C} \times 90$$

W_s : 定量用プロピルチオウラシルの量 (mg)

C : 1 錠中のプロピルチオウラシル ($C_7H_{10}N_2OS$) の表示量 (mg)

定量法 本品 20 個以上をとり、その質量を精密に量り、粉末とする。プロピルチオウラシル ($C_7H_{10}N_2OS$) 約 0.3 g に対応する量を精密に量り、ソックスレー抽出器に入れ、アセトン 100 mL を用いて 4 時間抽出する。抽出液を水浴上で加温してアセトンを留去し、残留物に水 30 mL を加え、以下「プロピルチオウラシル」の定量法を準用する。

$$0.1 \text{ mol/L 水酸化ナトリウム液 } 1 \text{ mL} \\ = 8.512 \text{ mg } C_7H_{10}N_2OS$$

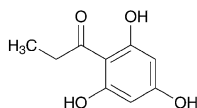
貯法

保存条件 遮光して保存する。

容器 密閉容器。

フロプロピオン

Flopropione



$C_9H_{10}O_4$: 182.17

1-(2,4,6-Trihydroxyphenyl)propan-1-one [2295-58-1]

本品は定量するとき、換算した脱水物に対し、フロプロピオン ($C_9H_{10}O_4$) 98.0 % 以上を含む。

性状 本品は白色～微黄褐色の結晶性の粉末で、においはなく、味は苦い。

本品は *N,N*-ジメチルホルムアミドに極めて溶けやすく、メタノール、エタノール (99.5) 又はジエチルエーテルに溶けやすく、水にほとんど溶けない。

確認試験

(1) 本品のエタノール (99.5) 溶液 (1 → 200) 1 mL に水 4 mL 及び硝酸鉄 (III) 試液 1 mL を加えるとき、液は赤紫色を呈する。

(2) 本品のエタノール (99.5) 溶液 (1 → 200000) につき、紫外可視吸光度測定法により吸収スペクトルを測定し、本品のスペクトルと本品の参照スペクトルを比較するとき、同一波長のところに同様の強度の吸収を認める。

融点 177 ~ 181 °C

純度試験

(1) 溶状 本品 1.0 g をエタノール (99.5) 10 mL に溶かすとき、液は澄明で、その液の色は色の比較液 H より濃くない。

(2) 重金属 本品 1.0 g をとり、第 4 法により操作し、試験を行う。比較液には鉛標準液 2.0 mL を加える (20

ppm 以下)。

(3) ヒ素 本品 1.0 g をとり、第 3 法により検液を調製し、装置 B を用いる方法により、試験を行う (2 ppm 以下)。

(4) 類縁物質 本品 0.10 g をエタノール (99.5) 10 mL に溶かし、試料溶液とする。この液 1 mL を正確に量り、エタノール (99.5) を加えて正確に 200 mL とし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 10 μ L ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次にヘキサン/エタノール (99.5) /酢酸 (100) 混液 (40:20:1) を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに噴霧用 4-ニトロベンゼンジアゾニウム塩酸塩試液を均等に噴霧し、冷風で約 5 分間乾燥するとき、試料溶液から得た主スポット以外のスポットは、標準溶液から得たスポットより濃くない。

水分 4.0 % 以下 (0.5 g, 容量滴定法, 直接滴定)。

強熱残分 0.10 % 以下 (1 g)。

定量法 本品約 0.3 g を精密に量り、*N,N*-ジメチルホルムアミド 30 mL に溶かし、0.1 mol/L テトラメチルアンモニウムヒドロキシド液で滴定する (電位差滴定法)。同様の方法で空試験を行い、補正する。

$$0.1 \text{ mol/L テトラメチルアンモニウムヒドロキシド液 } 1 \text{ mL} \\ = 18.217 \text{ mg } C_9H_{10}O_4$$

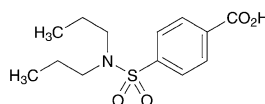
貯法

保存条件 遮光して保存する。

容器 気密容器。

プロベネシド

Probenecid



$C_{13}H_{19}NO_4S$: 285.36

4-(Dipropylaminosulfonyl)benzoic acid [57-66-9]

本品を乾燥したものは定量するとき、プロベネシド ($C_{13}H_{19}NO_4S$) 98.0 % 以上を含む。

性状 本品は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味は初めわずかに苦く、後に不快な苦みになる。

本品はエタノール (95) にやや溶けにくく、ジエチルエーテルに溶けにくく、水にほとんど溶けない。

本品は水酸化ナトリウム試液又はアンモニア試液に溶ける。

融点: 198 ~ 200 °C

確認試験

(1) 本品を強熱するとき、二酸化イオウのにおいを発する。

(2) 本品のエタノール (95) 溶液 (1 → 50000) につき、紫外可視吸光度測定法により吸収スペクトルを測定し、本品